

事業実績書

団体名	吉敷地区地域づくり協議会
-----	--------------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

組織を改編した新しい地域づくり協議会において、スムーズな事業推進のために細分化された専門部会を立ち上げ地域内活動団体との連携を図り、「笑顔あふれる ふれあいのまち」のテーマを各事業に当てはめて、地域づくり計画の速やかな事業の実施をめざします。

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	テーマに沿った「ふれあい」を中心にした地区住民同士のつながりづくり		
	事業名	ふれあいあいさつ運動	決算額	344,025
②	視点	地区に在る景勝や昔話等の保存と具現化		
	事業名	ふるさと伝承事業	決算額	965,964
③	視点	安心安全のための防災意識の向上		
	事業名	自主防災組織づくり	決算額	561,850

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)		自己評価
① 啓発グッズの作製や各行事でのふれあいの場づくりなどにより、地域住民どうしのあいさつ運動の促進に取り組みました。		○
② 大学連携により、史料のアーカイブ作業を実施しました。来年度以降、これら史料の閲覧に、史跡や民話などを関連付けた地図情報も併せてHPに掲載するとともにその文化的価値の周知のための講座を検討しました。		○
③ 防災特別委員会を立ち上げ、佐山地区の防災組織を視察するなど、防災組織の立ち上げに向けての基盤づくりに努めました。また、地区防災組織に必要な無線システムを地区消防団との連携により設置しました。		○

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

組織再編を実施し専門部会を充実させ、地域内の活動団体との連携を図りました。試行錯誤しながらも、継続事業、新規事業ともに、地域の多くの方の協力や参画により実施することができました。また、地域全体で課題の洗い出しができ、専門部会で検討された解決方法が共有され、自治会を中心に地域内活動団体との連携により事業実施される仕組みが少しずつ動き出していると思います。

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	6,308,136円(交付金4,642,676円)
事務局の 運営体制	(事務員等の雇用人数) 事務局長1名 事務員3名 (運営費の主な内容) 事務局人件費、事務費 (成果・評価) 年度当初、3人体制でしたが、下半期に1名増員し、事務局運営にあたりました。組織再編により、各専門部会の活動に伴う事務作業の増加など、例年以上に多忙を極めました。事務局一丸となって滞ることなく務めることができました。 (今後に向けて) 種々雑多な業務に現行の4人体制で対応していくため、効率的な業務の遂行に向けて、業務の洗い出し作業、事務分担の見直しをおこない、地域交流センターとの協働により、さらなる体制の充実、運営の強化に取り組みます。

(2) 地域振興

事業名	ふれあいあいさつ運動
事業費	344,025円(交付金344,025円)
事業概要	(実施内容) あいさつの啓発グッズの作製、各種行事におけるふれあいの場の演出など、地域住民が顔を合わせ、声を掛け合うきっかけを提供し、あいさつ運動の促進に努めました。 (実施時期) 通年 (参加人数) 2,000人 (成果) 啓発グッズのほか、まつりで「ふれあい標語」を募集し、交流センター発行のふるさとだよりで紹介するなど、あいさつ運動の啓発ができました。 (評価) 年を通じての啓発ができました。 (今後に向けて) 今後も継続していきます。

事業名	地域情報発信事業
事業費	332,620円(交付金332,620円)
事業概要	(実施内容) HPや地域交流センターが発行する広報誌の活用による情報発信や、不審者情報などを登録会員にメール配信するセーフティネットワーク事業を実施しました。 (実施時期) 通年 (参加人数) 650人 (成果) セーフティネットワークの登録会員が増えてきています。 (評価) 一定の情報発信はしていますが、HPやメール配信については、さらなる活用方法など工夫、検討する必要があると考えます。 (今後に向けて) 広報誌の発行、HPの充実などに取り組むと同時に検討中の広報委員会の設置に努めます。

事業名	成人式思い出づくり
事業費	165,750円(交付金165,750円)
	(実施内容) 成人式の記念写真を装飾し、地域の新成人をお祝いしました。 (実施時期) 1月～2月

事業概要	(参加人数) 100人 (成果) 新成人やご両親にも喜んでいただき、よい記念になったと思われます。 (評価) 事業が地域に浸透し、新成人のいる家族からは期待されているものと思われます。 (今後に向けて) 引き続き事業を実施したいと思います。
------	--

事業名	人権学習推進事業
事業費	138,851円(交付金110,851円)
事業概要	(実施内容) 懸垂幕による啓発のほか、小・中学校との連携により人権学習推進大会を開催するなどの活動を実施しました。 (実施時期) 通年・人権学習 (参加人数) 200人 (成果) 組織再編したこともあり、既存団体である人権学習推進協議会と連携しながら事業が実施できました。 (評価) 学校、地域が連携し、授業参観や講演会の地域への開放や、地区人権学習大会の開催などにより、人権について、少なからず考えるきっかけを提供できたものと考えます。 (今後に向けて) 引き続き事業を実施したいと思います。

(3) 地域福祉

事業名	青少年健全育成事業
事業費	329,668円(交付金262,598円)
事業概要	(実施内容) つどいの広場「楽楽楽」の運営やスポーツ少年団の活動の支援、夏休み期間の週末の夜間巡回などの事業を実施しました。 (実施時期) 通年 (参加人数) 350人 (成果) 専門部会の体制が強化され、地域の青少年健全育成に携わる住民が増え、関心が高まりました。 (評価) 赤ちゃんから小中学生、高校生までを対象に、各種事業に取り組めたと思います。 (今後に向けて) 引き続き事業を実施したいと思います。

事業名	ふれあいスポーツ交流事業
事業費	61,059円(交付金56,667円)
事業概要	(実施内容) 親睦やふれあいを目的としたゴルフ大会や多世代交流グラウンドゴルフ大会を実施しました。 (実施時期) 11月・3月 (参加人数) 150人 (成果) 多くの参加があり、特にグラウンドゴルフ大会では大人と子どもがペアを組み、地区独自のルールで楽しむことで世代間の交流が深まりました。 (評価) 従来の町内対抗のスポーツ大会への参加が困難な人でも気軽に参加できる大会を開催することで、地域のスポーツ振興に繋がったと考えます。 (今後に向けて) 地域の要望を踏まえ、ウォーキングや体操など、様々な大会をできるものから提供していきたいと思います。

(4)安心・安全

事業名	自主防災組織づくり
事業費	561,850円(交付金561,850円)
事業概要	(実施内容) 防災無線の整備、先進地視察研修を実施しました。 (実施時期) 11月・3月 (参加人数) 50人 (成果) 自主防災組織の立ち上げについてのノウハウや課題を視察研修で学ぶことができました。また、防災無線を整備し、消防団で実証的に活用をするなど、自主防災組織の立ち上げのための準備に取り組むことができました。 (評価) 吉敷でも豪雨による被害が大きかったことなどから防災に対して関心が高まっています。そのため、研修の呼びかけには多くの参加がありました。 (今後に向けて) 先進地の例を参考にしながら、自主防災組織の立ち上げに向けて、着実に段階を進めていきたいと考えています。

事業名	子どもと高齢者の見守り活動
事業費	138,362円(交付金138,362円)
事業概要	(実施内容) 子どもの下校時の見守り活動のために下校時刻を知らせるカレンダーを全戸配布し、昨年に続いて車両用啓発ステッカーを商工振興会や消防団などに追加配布したほか、関係団体が連携しながら、子どもや高齢者の見守り活動を実施しました。また、ひとりで子育てに悩む親を作らないための、つどいの広場「楽・楽・楽」の環境を整えました。 (実施時期) 通年 (参加人数) 400人 (成果) カレンダーの内容に下校時刻や行事等を載せ、買い物や散歩でのさりげない見守り活動と呼びかけました。また、車両用ステッカーをつけた車両が地域内を走ること、見守り活動を促進し、地域としての連帯感が醸成されてきています。 (評価) 見守り活動への理解が深まっていると思われます。 (今後に向けて) 地域内の関係団体と連携しながら、今後も推進していきます。

(5)環境づくり

事業名	土木工事
事業費	2,405,000円(交付金2,405,000円)
事業概要	(実施内容) 8箇所の法定外公共物の整備を実施しました。 (実施時期) 6月～3月 (参加人数) 50人 (成果) 地区内の環境整備が進みました。 (評価) 事業要望の多くに対応できました。 (今後に向けて) 要望が多い場合の対応について、事業額や受益者数、緊急性、重要性など判断できる人材、制度が必要と考えます。

事業名	カーブミラーの充実
事業費	35,000円(交付金35,000円)
	(実施内容) 老朽化したカーブミラーの修繕を補助しました。

事業概要	(実施時期) 6月・3月 (参加人数) 10人 (成果) 単位町内会からの要望により実施し、安全対策が充実しました。 (評価) 交差点での事故防止に寄与できたと思われます。 (今後に向けて) 各町内会へ補助制度を周知し、要望を把握し対応していきます。
------	--

事業名	ホタルが飛び交うふるさと吉敷
事業費	144,801円(交付金94,801)
事業概要	(実施内容) 学校との連携による河川清掃、ホタル採取、飼育、放流を行いました。 (実施時期) 5月～9月 (参加人数) 700人 (成果) 昨年度の放流により、今年度もたくさんのホタルが飛び交っていました。来年度も、ふるさとの川にたくさんのホタルの乱舞が期待できます。 (評価) 地域は学校、子ども、ホタルのために参加し、学校は地域づくりの一翼を担うため地域との連携を図り、子ども達は環境意識を高めながら、それぞれがふるさとへの愛着と命の尊さを学ぶことができ、改めて有意義な事業だと考えます。 (今後に向けて) 引き続き、小学校との連携を強化し、美しい環境づくりを目指します。

事業名	環境美化運動
事業費	341,899円(交付金341,899円)
事業概要	(実施内容) 桜の樹広場の整備、環境美化作業 (実施時期) 5月～3月 (参加人数) 述べ2,000人 (成果) 日本百名山のひとつである東鳳翔山への登山道途中にある「桜の樹広場」に石のベンチを整備したほか、吉敷川沿いなどの草刈りを実施し、「美しい吉敷」の実現を目指した地域住民による環境美化活動が展開できました。 また、特定外来生物オオキンケイギクの除去作業を実証的に実施するなど、新たな課題へも取り組みました。 (評価) 地域で一斉に行う環境美化作業が定着してきています。 (今後に向けて) 現状調査を開始し保全箇所を特定したうえで、東鳳翔山登山道全体の整備に取り組みます。調査でまとめたデータなどの公開により、東鳳翔山や凌雲寺跡を訪れる人へのおもてなしの機運を高めます。

(6) 地域個性創出

事業名	コミュニティ活性化事業
事業費	927,987円(交付金638,097円)
事業概要	(実施内容) 運動会、まつりの開催 (実施時期) 運動会4/21、夏祭り8/13、ふるさとまつり11/9 (参加人数) 延べ3,000人 (成果) 運動会を維新公園から小学校で開催することになって2年目。自治会や体育団体の役割分担のもと、円滑な運営ができました。 まつりに関しては、出展団体の使用電力量の制限など事前協議で諸問題について実行委員会による統制がとれており、豪雨災害のあった阿東の特産物販売ブースを設けるなどのアイデアも出て実現していました。 (評価) 運動会、まつりとも雨が降る場面がありましたが、参加者には楽しんでもらえたと思います。まつりと小学校のフェスタとの連携は開催時期などの諸事情により実現には至りませんでした。 (今後に向けて) 参加者にケガ人が出た反省として、注意喚起や競技内容の見直しを図ります。また、多くの方の参加に向けた工夫検討が必要と考えます。

事業名	ふるさと伝承事業
事業費	965,964円(交付金711,464円)
事業概要	(実施内容) 地域の文化的価値の保存、継承および人材育成のための団体活動の補 (実施時期) 通年 (参加人数) 300人 (成果) 大学連携により、吉敷の景勝や偉人、名所旧跡の記録、史料のアーカイブ化などの保全活動が進捗しました。また、中尾の藤棚の古木と若い木を継続的に保全しているため、年々その成長を楽しめるようになっています。 (評価) 今後、HPなどで吉敷の文化を広く伝えるための基礎作業ができました。 (今後に向けて) 中尾の藤棚も含め、地域住民が価値を見出してる「吉敷の文化」を見極め、伝承していくと同時に、そのための人材発掘に努めていきます。

(注) 事業概要の欄には、事業の目的、事業内容、実施時期、参加予定者数等の項目で概要を記載してください。